

泉松陵高等学校

校訓 自律・啓発 友愛・協調 堅忍・不撓



1 基本データ

創立：昭和56年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：680名
所在地：〒981-3109
仙台市泉区鶴が丘4丁目26-1
TEL：022-373-4125
FAX：022-373-4126

ホームページアドレス：<https://shoryo.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：shoryo@od.myswan.ed.jp
主な交通機関 【宮城交通バス】
鶴が丘ニュータウン線：『泉松陵高校入口』下車徒歩6分
・地下鉄泉中央駅 5-2番 → 約17分
・地下鉄八乙女駅 3番 → 約16分
・JR岩切駅前〈泉中央駅行〉 → 約16分（発車時刻：8:00）
・仙台駅西口6番〈鶴が丘ニュータウン行〉 → 約47分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

限らない夢に、一歩ずつ

授業：きめ細かな学習サポート

進路：夢をかなえる進路指導

部活動：仲間とつくる新たな1ページ

泉松陵高校は、特別進学クラスの設置や台湾12大学との連携などの新たな取り組みに挑戦し続けています。

（1）学校の概要（沿革、環境、施設等）

宮城県泉松陵高等学校は、泉区の東部、鶴が丘の高台に位置しており、自然環境に恵まれ、四季の景観の移り変わりの中で、のびのびと明るい高校生活を送ることができます。

また、校舎・教育設備でも、整備・充実が図られています。自学室「松学館」や食堂・合宿所「陵風会館」は冷暖房が完備され、快適な環境で学習等に励むことができ、運動部はそれぞれの専用練習場で練習に汗を流しています。

このような恵まれた環境のもと、昭和56年4月の創立以来、生徒、保護者や地域の方々の協力のもとで着実な歩みを続け、学習、部活動や進学・就職等で多くの成果を上げてきました。卒業生は1万2千人を突破し、国内外各方面で活躍しています。

（2）教育方針

広く国際的視野を持ち、未来のわが国に貢献し得る人物を育成すべく、知・情・意の調和ある発達を図り、心身ともに健全で、個性豊かな人間を育てる。

1. 自己を律し人間力を高め向上させる生徒の育成
2. 他を思いやり互いに助け合い社会に貢献する生徒の育成
3. 困難にあってもくじけず立ち向かう心を持つ生徒の育成

（3）教育課程の特徴

本校では以下の項目を重点的に、きめ細かな学習サポートを行っています。

1. 国公立大学を目指すカリキュラム
2. 習熟度別で行うわかりやすい授業
3. 基礎学力の定着を図るPTテスト
4. 応用力・実践力を高める課外講習
5. 小論文・面接に対応した個別指導

1年生では基礎学力の定着に重点を置き、全員が共通の科目を学習しますが、2年生からは進路に応じた選択科目を学習します。数学や英語においては習熟度別・少人数編成授業を取り入れており、自分に合った分かりやすい授業を受けることができます。

3年生では文系・理系に分かれさらに細分化された選択科目を設け、個々の進路希望の実現に向けて学習します。長期休業期間を利用した課外講習や、進路希望に応じた個別指導も充実しています。

また、令和2年度から特別進学クラスを設置し、進学希望者の進路達成を強力にサポートできる態勢を整えているだけでなく、令和7年度からは台湾12大学との連携協定により、世界規模で活躍できる人材を輩出できるよう全力で応援しています。

（4）行事・生徒会活動・部活動

① 学校行事

主な行事として、松陵祭（文化祭）、球技大会、マラソン大会などがあります。各行事では生徒が主体となって企画・運営を行うことで実践力や結束力が強まり、学年の垣根を越えて盛り上がります。

また、2年生の修学旅行では、昨年度関西方面と台湾方面の2方面で実施しました。台湾方面の修学旅行では、台湾連携大学との交流の他、故宮博物院等を見学しました。

② 生徒会活動（地域交流、ボランティア活動）
募金活動や地域の児童館・市民センターでの活動支援などのボランティア活動が盛んに行われており、年間で約700人（延べ人数）の生徒が参加しています。昨年度は生徒会が企画立案し、地域交流として「多世代あいさつ運動」を行いました。

③ 部活動

＜運動部＞ 硬式野球（男）、サッカー（男）、バスケットボール（男女）、ハンドボール（男）、バレーボール（女）、ソフトボール（女）、ソフトテニス（男女）、バドミントン（男女）、

陸上競技（男女）、卓球（男女）、弓道（男女）、剣道（男女）

＜文化部＞ 吹奏楽、美術、演劇、写真、書道、茶道、華道、科学、英語、家庭、応援団・チャリダー

（5）卒業生の進路状況

進路一覧（過去3年間、進学者・就職者数）

進路	R6	R5	R4
国公立大学	3	0	0
国公立短大	0	0	1
私立大学	107	99	98
私立短大	16	16	24
専各学校	60	79	63
就職	18	24	18
その他	8	11	16
卒業生計	212	229	220

主な進路先（令和7年3月卒業生）、
（ ）内は人数 （1）は省略

＜国公立大学＞

弘前大学、宮城大学（2）

＜私立大学＞

東北学院大学（13）、東北工業大学（23）、東北福祉大学（27）、宮城学院女子大学（11）、尚絅学院大学（8）、東北文化学園大学（7）、仙台白百合女子大学（4）、仙台青葉学院大学（3）、神奈川工科大学、関東学院大学、共立女子大学、東京農業大学、城西国際大学、上武大学 他

＜短期大学＞

仙台青葉学院短期大学（8）、仙台赤門短期大学、聖和学園短期大学（6）

＜専修各種学校＞

仙台医療センター附属仙台看護助産学校、仙台市医師会看護専門学校、東北労災看護専門学校、仙台総合医療大学校（2）東北電子専門学校（9）、宮城県立仙台高等技術専門学校、仙台理容美容専門学校（4） 他

＜大学校＞

東北職業能力大学校

＜就職＞

警視庁、宮城県警察、自衛隊（4）、宮城県教職員互助会、トヨタ自動車東日本（株）（2）、（株）玉澤総本店 他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

地方創生アイデアコンテスト東北経済産業局局長賞受賞

本校の生徒会を中心とした2・3年生チームが、内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2024」において、東北経済産業局局長賞を受賞しました。本コンテストは、地域の課題を自ら発見し、その解決に向けた政策アイデアを競うもので、高校生のみならず小学生から一般団体も含めて幅広く公募されます。本校の提案内容は「部活動を多世代化し、地域の健康寿命を延ばす」というものです。昨今の社会課題に対するエビデンスに基づいた実践的な内容として高く評価されました。受賞生徒たちは東北経済産業局を訪問し、授賞式に参加しました。本校で力を入れている探究活動の成果が大きな実を結びました。



女子弓道部インターハイ・全国選抜大会出場 ～全国選抜大会個人戦第二位入賞～

女子弓道部は6月の県高校総体を勝ち抜き、8月に長崎県島原市で開催されたインターハイ団体戦に出場しました。予選を通過し、トーナメント1回戦では接戦を制してベスト16という結果を残すことができました。さらに、秋の県新人大会では団体・個人ともに優勝し、東北選抜大会（弘前市）では団体戦優勝、続く全国選抜大会（四日市市）では団体ベスト32、個人戦第二位入賞を果たしました。

また、男子も1月の県予選を勝ち抜き、男女揃って3月の東日本大会に出場しました。



(2) 学校の主な行事と泉三校定期戦

松陵祭

9月に2日間にわたり行われます。ステージ発表では文化部のみならず、クラスや有志団体による様々なパフォーマンスが行われ、たいへん盛り上がります。また、展示の部においては文化部の作品展示や模擬店が開かれ、近隣や保護者の方々などたくさんの見学者が訪れます。



球技大会

11月に2日間開催される行事です。クラス毎におそろいのTシャツを着て優勝を目指し、屋外でサッカー・ドッジボール、体育館でバレーボール・バスケットボールなどの球技が行われます。競技だけでなく、応援も盛り上がり、クラスの絆が深まるイベントです。



マラソン大会

10月、隣接する宮城県民の森で開催される行事です。森の中を走ることで、体力作りだけでなく、森林浴も味わうことができます。上位入賞者には賞状とメダルが授与されます。



修学旅行（関西方面・台湾方面）

台湾方面への修学旅行では、貴重な国際交流体験をすることができました。現地では、本校が連携協定を結んでいる「開南大学」を始め、故宮博物院や、映画「千と千尋の神隠し」の舞台となったとされる九份老街など、台北市内の主要な歴史的・文化的な場所を見学しました。開南大学訪問では、本校生徒が事前準備をしていたスライドを用いて、日本文化を英語で紹介する活動もあり、好評を得ることができました。現地の学生（本校卒業生の留学生も在籍）や一般市民と片言の台湾語や英語を使って意思疎通を図りながら、異文化理解への興味を深め、満足度が高い行事となりました。



泉三校定期戦

泉区にある3つの高校（泉松陵、泉館山、泉）で行う定期戦です。全校生徒が一丸となり各競技や応援合戦を繰り広げます。これまでコロナ禍により、中止や規模を縮小して実施してきましたが、令和5年度以降はコロナ以前の形態で開催しています。



(3) 学校制服紹介

令和3年度から新制服となりました。本校のイメージカラーであるグリーンを基調とした制服となっています。

男女とも、夏服は、シャツの他に紺色のポロシャツを選ぶこともでき、涼しいと好評です。また、女子はスカートの代わりにスラックスを選ぶことも可能です。家庭で洗濯できる素材を採用しています。



(4) 施設紹介

令和3年度に40周年を迎え、開校当初からの校舎は少しずつリノベーションが施され、快適に過ごせるようになっています。教室だけでなく、宿舎「陵風会館」や自習室「松学館」にも冷暖房が完備され、生徒が気持ちよく学習や合宿に取り組めるようになっています。また、県民の森と隣接しており、静かで自然豊かな環境で勉強に励むことができます。

